

発電所だより

平成21年2月発行 東北電力(株)女川原子力発電所広報課 女川町塚浜字前田1 電話0225-53-31111 原子力の情報をホームページで公開しています。 <http://www.tohoku-epco.co.jp>

2月号

トピックス

火災発生のお詫びと再発防止対策の取り組み状況をお知らせするため、各戸を訪問しました。

1月8日(木)より14日(水)まで、昨年発生した火災のお詫びと、火災再発防止対策の取り組み状況をお知らせするため、発電所の職員が女川町および石巻市の発電所周辺にお住まいの約6,500世帯を訪問しました。

今後とも地域の皆さんから信頼される発電所となるよう努力してまいります。



▲訪問の際に皆さまからいただいた貴重なご意見は、今後の発電所運営に活かしてまいります。

トピックス

石巻市立寄磯中学校にてエネルギー教室・放射線基礎講座を開催しました。

1月15日(木) 石巻市立寄磯中学校において、エネルギー教室・放射線基礎講座を開催しました。

今回の授業では、最初に発電所の職員が原子力・風力・水力などの発電模型を用いて発電の仕組みを説明しました。その後、どのようなところで放射線が活用されているかの説明や霧箱という装置を作つて放射線の一一種であるアルファ線が飛ぶ様子の観察などを行い、エネルギーと放射線に関する理解を深めていただきました。



▲参加された皆さんは、楽しみながら実験に取り組んでいました。

トピックス

平成20年度原子力防災訓練に參加しました。

1月22日(木)・23日(金)，宮城県・女川町・石巻市が主催する原子力防災訓練に当発電所も参加し、緊急時通信訓練、緊急時モニタリング訓練などの各種訓練を行いました。

また、本訓練時、発電所独自に当発電所自衛消防隊の初期消火活動の技能向上を図るため、消防訓練も実施し、放水訓練や耐熱服・耐火服・空気呼吸器の着装訓練などを行いました。



▲発電所における訓練の様子。参加者は皆緊張感をもって訓練に取り組みました。



▲発電所における消防訓練の様子。耐熱服・防火衣を着用し放水訓練などを実施しました。

【発電所の運転状況（1月末現在）】

号機	運転状況	主な動き
1号機	定期検査中	第18回定期検査中です
2号機	運転中	順調に運転しています
3号機	定期検査中	第5回定期検査中です

第7回東北電力図画コンクール応募全作品を展示了。 ご来場いただいた皆さま、ありがとうございました。

1月16日(金)から25日(日)まで、石巻市蛇田のイオン石巻ショッピングセンターにて「第7回東北電力図画コンクール『想像の海の生きものたち』」にご応募いただいた全作品4,255点を展示了。

展示期間中は多くの皆さんにご来場いただきました。ご来場いただいた皆さま、ありがとうございました。



▲1階エスカレーター脇の展示の様子。
全応募作品を8ヶ所に分けて展示了。



最優秀賞 海を冷やせ !!
杉本 茜さん(石巻市)

今、地球温暖化で海の水温が上がり、いろいろな問題が起きているので、氷のハコフグをかきました。これを見て、すこしでもエコにきょうみをもってくれるとうれしいです。



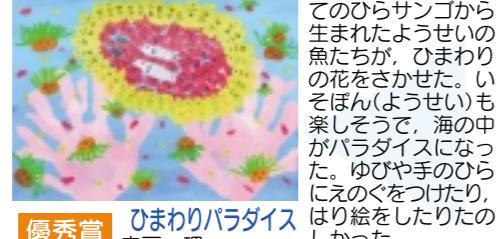
優秀賞 海の季節
阿部竜雅さん(石巻市)

春、夏、秋、冬、それぞれの魚を想像してかきました。海も色がだんだんくなるように工夫しました。



優秀賞 おそうじエビカニ
阿部菜々子さん(石巻市)

てのひらサンゴから生まれたようせいの魚たちが、ひまわりの花をさかせた。いそほん(ようせい)も楽しそうで、海の中がバラダイスになった。ゆびや手のひらにえのぐをつけたり、はり絵をしたりしたのしかった。



優秀賞 ひまわりパラダイス
宍戸 理さん(石巻市)

ゴミを食べてくれるウニがいれば、いつも海はきれいでいいよね。



優秀賞 ゴミを食べちゃうニ~!!
山形峻太さん(東松島市)

クリオネの親子を中心に、しあわせそうな仲間たちを描きました。



優秀賞 海の中のしあわせ
木村優花さん(東松島市)

クリオネの親子を中心に、しあわせそうな仲間たちを描きました。

* エネルギー資源の乏しい日本と原子力発電 *

日本は、エネルギー資源の約96%を海外に頼る資源小国です。その中でも石油は約90%を中東に頼っています。また、日本は周りを海に囲まれているので電気を直接輸入できません。このため様々な種類のエネルギーをバランスよく輸入し、使用することが重要です。

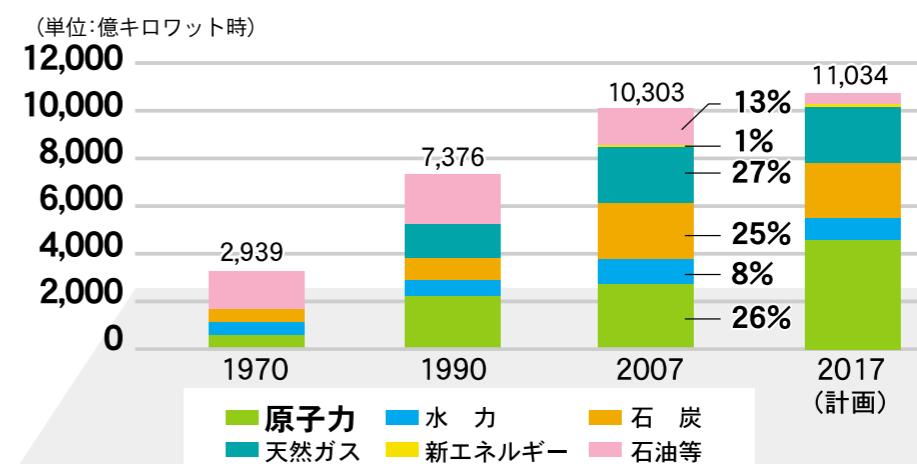
日本では2度のオイルショックを経験した後、石油に代わり安定して使用できる原子力や天然ガスなどによる発電方式の開発と導入を進めてきました。

その結果、原子力発電は2007年度実績で日本の電気の約26%をまかなうまでに成長し、私たちの生活に欠かせないものとなっています。



©i&t

発電電力量の推移と見通し



出典：原子力 2009 [コンセンサス]